

# わかくさ学級1年 道徳科学習指導案

令和7年1月25日(土)2校時

わかくさ1組 1年 9名

授業者 金子 里緒

- 1 主題名 おおきくそだって 内容項目:D(17)生命の尊さ
- 2 教材名 「ちいさな ふとん」 光村図書
- 3 ねらい 生まれたばかりの弟の様子から、自分の成長に気づく「よしこ」の姿を通して、大きくなったと感じることについて考え、生きることの素晴らしさを感じ、命を大切にしようとする心情を育てる。

## 4 展開

	学習活動(主な発問と予想される児童の反応)
導入	<p>1 赤ちゃんの顔や身に付けるものの写真や映像を見たり、赤ちゃんくらいの重さの物を持ちたりして、自分よりも「小さい」人について想起する。</p> <p>○「みなさんの身の回りに自分よりも小さな弟や妹、親戚などはいいますか。」 ・弟がいます。 ・いとこが小さいです。</p> <p>○「みなさんが小さかった頃のことを覚えていたり、聞いたりしたことがありますか。」 ・聞いたことあるよ。 ・〇〇が好きだった ・僕は〇〇に住んでいました。</p>
展開	<p>めあて: おおきくなったと かんじるのは、どんなときでしょう。</p> <p>2 教材文を読み、「よしこ」の弟を思う気持ちや生命のいとおしさを感じる気持ちに共感する。</p> <p>○「わたし」はどうして「たからものをもっているようなきもち」になったのでしょうか。 ・弟が小さいから。 ・大好きだから。</p> <p>○「もう この おふとんでは ねられなくなつたわね。」と、お母さんに言われた時、「よしこ」はどんなことを考えたでしょう。」 ・前はこんなに小さい布団に寝ていられたんだ。 ・私はもうお姉さんだから、大きい布団に寝るよ。</p> <p>3 自分の成長を日々の生活につなげて、具体的に考える。</p> <p>○「みなさんが「おおきくなった」と感じるのはどんなときですか。」 ・くつきつくなつたとき。 ・届かなかつたところに届いたとき。 ・ご飯をたくさん食べられるようになったとき。 ・歯が抜けたとき。</p>
終末	<p>4 事前に保護者から預かっていた乳幼児期の写真や持ち物を見て、一人一人の身体的・心理的な成長を振り返り、価値付ける。</p> <p>○「みなさんは、体はもちろんですが、心も大きく成長しました。」</p> <p>5 感想を発表する。</p>

## 5 評価

- ・自身の成長を振り返り、大切に育てられてきたことに気づいたり、身の回りの人を大切に思う気持ちを表現したりしている。

